

令和 8 年 9 月 2 8 日
県土整備部県土整備政策課
043-223-3377

『第2回 千葉県 ライフライン復旧に関するプロジェクト会議』 の開催結果について

本日開催した「第2回 千葉県ライフライン復旧に関するプロジェクト会議」の開催結果についてお知らせします。

- 第1回会議は停電の早期復旧に向けて、関係機関との連携を確認したところであるが、水道・通信も含めて関係機関が連携して取り組んでいくことを確認した。
- 千葉県防災危機管理部からは、発電機やポータブル電源のプッシュ型配布などを実施し、支援している旨の報告があった。
- 総務省より、携帯電話各社にて移動基地局を現地派遣するなどして、9月28日時点でエリア支障は解消。
- 経済産業省より、引き続き情報共有のうえ協力してライフライン復旧に取り組んでいく。
- 水政課からは、県内の断水が随時解消している旨の報告があった。
(残り断水件数：約400件（停電によるもの約300軒))。
- 東京電力パワーグリッド(以下「東京電力 PG」。)から、9月25日から約6000軒の停電が解消し約4000軒になったと報告があった。引き続き県や市と連携して停電解消に向けて取り組んでいく。
- 関東地方整備局からは、ライフラインの復旧に向け、日本建設業連合会と協力して4班体制で実施しており、昨日から1班動員し、計5班体制で啓開作業を実施している旨の報告があった。また、ドローン部隊を導入し被災状況の把握も進めている。なお、大規模崩落等により、道路啓開が相当の期間を要すると見込まれる箇所などは、関係機関において代替的な通電方法を検討することを確認した。

○千葉県県土整備部からは、県管理道路の通行規制箇所や復旧状況等の報告があった。東京電力 PG のリストと重要度を踏まえて啓開作業を進めたい。また、写真を提供いただきたい旨のお願いがあった。

○自衛隊からは本日から本格的に倒木除去など、道路啓開に着手した旨の報告があった。これからも連携を密にして取り組んでいく。

○千葉県建設業協会からは、崩落土に多くの水分が含まれているため、作業に危険が伴う。また、東京電力 PG 柱に別の通信線が共架しているため、その調整をお願いしたい。

○台風 26 号に備えて、県民には次の点に留意してほしい

- ・県リスクのある場所をハザードマップ等で事前に確認する
- ・土砂災害や浸水が発生した地域では早めの避難
- ・備蓄品を 3 日分ほど用意
- ・家族との連絡手段の確認
- ・警戒レベル 4 の段階で危険な場所から全員避難、高齢者等はレベル 3 の段階で避難をしてほしい。

※会議次第とプロジェクトチーム構成員は別添のとおり。